

教科	国語	科目	百人一首入門	年次	3～4	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		これでかるた名人 (真珠書院)					

学習 目標	(1) 百人一首を読むことを通して、我が国の文化の特質について理解を深めます。 (2) 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら読み、内容の解釈を深めるとともに、先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにします。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。	
評価の 観点	① 知識・技能	作品に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色を捉えている。また、当時の人々の人生観や美意識などに触れ、我が国の文化の特質について理解を深めている。
	② 思考・判断・表現	作品ができあがった状況や、同じテーマ・題材を持つ他の作品を踏まえて、内容の解釈を深めている。また、現代と共通するもの、古文特有のものなど、様々なものの見方、感じ方、考え方に親しみ、想像力を伸ばし、感性を豊かにしている。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	言葉や表現から様々なことを感じたり、感じたことを言葉にしたりすることで、心を豊かにするとともに、文化としての言語や言語芸術を尊重しながら、言葉を通して他者や社会と関わろうとしている。
評価の 方法	定期考査に加え、提出物（ノート、学習プリント等）、小テストの成績などを総合的に評価します。また、平常の取組についても評価の対象とし、授業態度や参加姿勢等を、総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	1 小倉百人一首の成り立ち	・百人一首の成り立ちについて理解します。
	2 歌の解釈	
	3 かるた競技	
	4 歌の解釈	・和歌の修辞について理解します。 ・作品の背景や他の作品との関係性などを踏まえながら、内容を解釈します。 ・学習した和歌の上の句と下の句の組合せを覚えます。 ・かるた競技の方法について学びます。 ・覚えた和歌でかるた競技をします。
	5 かるた競技	
後期	6 歌の解釈	・和歌の修辞について確認します。 ・作品の背景や他の作品との関係性などを踏まえながら、内容を解釈します。 ・学習した和歌の上の句と下の句の組合せを覚えます。 ・覚えた和歌でかるた競技をします。
	7 かるた競技	
	8 歌の解釈	・作品の背景や他の作品との関係性などを踏まえながら、内容を解釈します。 ・学習した和歌の上の句と下の句の組合せを覚えます。 ・覚えた和歌でかるた競技をします。 ・読手の練習をします。
	9 かるた競技	